

第27回定期地方委員会開催



<組合員の思いがこもった檄布>

3月7日タイセイアネットワークにて、第27回定期地方委員会を開催した。今回は、新型コロナウイルスの影響もあり、縮小しての開催になった。冒頭、日高委員長より「世界で広がっている新型コロナウイルスの影響を受けJR九州も例外ではない。公共交通機関として、第一線で働いている組合員に敬意を表すと共に労働組合として、中央本部と連携し、現場で感染者を出さない対策を講じて行きたい。」と述べました。

来賓に訪れた中原中央執行委員長からは、安全に向けた取り組み、組織、春闘、政策関係についての挨拶を受け、2020春闘勝利に向けた檄布を中原委員長に手渡しました。

その後、経過報告並びに運動方針（案）を提起し、質疑応答、採択を行い団結



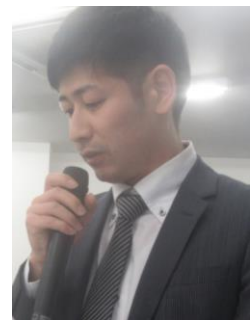
・宮崎工務分会
西野篤史委員

◎宮崎地区の電気の効率化に於いて「D区分」となり、南延岡工務センターの電気の職場が無くなることを残念に思う。グループ会社に業務を委託されることになるが、「C区分」の現在でもグループ会社要員状況が厳しいのに関わらず今回の施策で要員が確保されるのか危惧する。本体の社員に負担がないようにされたい。

春闘については、3000円の要求に対し3000円のベースアップで勝ちとつたことを聞くが違うのではないか。妥結に至った経緯を組合員に周知すべきである。

委員会発言内容

ガンパローで開会しました。



・鹿児島乗務分会
白木宏一委員

◎長年要求してきた、乗務員職場で転勤が出来るようになったことに感謝申し上げます。

当乗務センターでは、年休を申請しても取れない状況が続いている。要員の確保を要請する。

ワンマン列車の乗車マナーについて、不正乗車が多く困っている。対策を講じられたい。

看視時間で食事の時間を設定されているが、運転席での食事になると機器に損傷を与えることにもなりかねない。また、お客さまの動向も気になる。

・宮崎地区連合分会

古賀和行委員

◎宮崎駅でお客さまが線路に転落する事象が発生した。宮崎駅にはホーム上にSOSボタンが設置されていない。設置をお願いする。



・宮崎乗務分会
西田智博委員

◎新型コロナウイルスの感染防止のため、普通列車を全車扱いとし換気をするべきと考える。



・延岡地区分会

宮路佑希委員

◎効率化施策後は、分会が縮小するが、組織を終結し今後とも頑張つて行きたい。

延岡地区の社宅が無くなり転勤者が困っている。会社で賃貸を借上げて提供できないか。

頂いた発言については責任を持って執行部が頑張つて参ります！